

定期作況報告

(第3号 平成14年7月20日現在)
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

6月下旬：最高気温および最低気温は平年より2.9℃、4.1℃低かった。降水量は平年より5mm少なく、平年対比77%であった。降水日数は平年より1日多かった。日照時間は平年より8.7時間多く、平年対比117%であった。夏日（最高気温25℃以上）は4日間であった。

7月上旬：最高気温および最低気温は平年より各々0.7℃、0.8℃高かった。降水量は平年より4mm少なく、平年対比88%であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より7.0時間少なく、平年対比83%であった。夏日は4日間であった。

7月中旬：最高気温は平年より1.5℃低く、最低気温は平年より1.1℃高かった。降水量は平年より112mm多く、平年対比419%であった。降水日数は平年より5日多かった。日照時間は平年より35.5時間少なく、平年対比30%であった。夏日は4日間であった。

6月下旬から7月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.3	23.2	▲2.9	24.6	23.9	0.7	23.9	25.4	▲1.5	22.9	24.1	▲1.2
最低気温(℃)	8.1	12.2	▲4.1	15.1	14.3	0.8	16.4	15.3	1.1	13.2	13.9	▲0.7
平均気温(℃)	14.2	17.5	▲3.3	19.3	18.8	0.5	20.1	20.0	0.1	17.9	18.7	▲0.8
降水量(mm)	15	20	▲5	32	36	▲4	147	35	112	193	91	102
降水日数(日)	4	3	1	3	4	▲1	9	4	5	16	11	5
日照時間(h)	60.9	52.2	8.7	34.0	41.0	▲7.0	15.1	50.6	▲35.5	110.0	143.8	▲33.8

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

2. 作 況

1) 水 稲 : 平年並

事由：幼穂形成期は各品種・苗とも平年より1日遅かったが、止葉期は中苗「きらら397」「ほしのゆめ」が平年並で、成苗「きらら397」は平年より3日早かった。主稈葉数は中苗「きらら397」が平年より0.3枚多かったが、中苗「ほしのゆめ」は0.5枚、成苗「きらら397」は0.1枚平年より少なかった。㎡当たり茎数は各品種・苗とも平年より多く、平年対比で中苗「きらら397」が111%、中苗「ほしのゆめ」が104%、成苗「きらら397」は106%であった。草丈は各品種・苗とも平年よりやや低かった。

7月中旬の多雨・日照不足の影響が懸念されるが、目下の作況は「平年並」である。

表2 生育期節

品 種 苗	幼穂形成期 (月・日)			止葉期 (月・日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397 中苗	7.03	7.02	1	7.19	7.19	0
ほしのゆめ 中苗	7.02	7.01	1	7.17	7.17	0
きらら397 成苗	6.30	6.29	1	7.14	7.17	△3

注1) 平年値：平成7～13年7カ年から平成10年・平成11年を除いた5カ年の平均値。

ただし、「ほしのゆめ中苗」は平成9～13年5カ年の平均値。

2) △印は平年に比べて早を示す。

3) 幼穂形成期の判定基準：全主稈幼穂長2mm

4) 止葉期：全茎の40～50%に達した日

表3 7月20日現在の本田生育

品 種 苗	主稈葉数 (枚)			茎数 (本/㎡)				草 丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
きらら397 中苗	11.5	11.2	0.3	1045	938	107	111	62.0	65.3	▲3.3
ほしのゆめ 中苗	10.2	10.7	▲0.5	969	930	39	104	68.2	69.8	▲1.6
きらら397 成苗	11.0	11.1	▲0.1	988	930	58	106	64.0	67.9	▲3.9

注1) 平年値：平成7～13年7カ年から平成10年・平成11年を除いた5カ年の平均値。ただし、

「ほしのゆめ中苗」は平成9～13年5カ年の平均値。

2) ▲印は平年に比べて減を示す。

2) 秋まき小麦： 平年並

事由：出穂期は平年より8日～9日早かったが、6月下旬の低温と7月中旬の連続した降雨により、成熟期は、「タイセツコムギ」で平年より2日早いに留まり、「ホクシン」では平年より1日遅くなった。稈長、穂長、穂数は平年並であった。
したがって、目下の作況は平年並である。

表4 7月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	出 穂 期 (月日)			成 熟 期 (月日)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ	6. 4	6.12	△ 8	7.19	7.21	△ 2
ホ ク シ ン	5.30	6. 8	△ 9	7.17	7.16	1

品 種 名	稈 長 (cm)			穂 長 (cm)			穂 数 (本/m ²)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ	83	84	▲1	9.0	8.8	0.2	544	528	16
ホ ク シ ン	84	83	1	8.5	8.4	0.1	570	595	▲25

注1) 平年値は、前7か年中、平成7年、9年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。▲は平年より減を示す。

3) とうもろこし： やや不良

事由：前期の生育の遅れは、6月下旬の低温の影響で回復せず、草丈、出葉数とも平年を下回り、前期同様、晩生の早種の「P3732」でその遅れが大きい。
したがって、目下の作況はやや不良である。

表5 7月20日のとうもろこしの生育

品 種 名	草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
キタユタカ	185	221	▲36	15.9	16.6	▲0.7
P 3 7 3 2	161	210	▲49	15.1	17.0	▲1.9

注1) 平年値は、前7か年中、平成12年、13年を除く5か年の平均値。

2) 平成10年度より栽植本数を 7576本/10aに変更した。

4) 大豆： やや不良

事由：6月中旬～下旬の低温および降水不足によって、生育は停滞した。7月に入ると気温はほぼ平年並となり、十分な降水もあったため、生育は回復傾向にある。開花期は両品種とも平年より3日遅く、主茎長、主茎節数、分枝数は何れも平年を下回っている。
したがって、目下の作況はやや不良である。

表6 7月20日の大豆の生育

品 種 名	開 花 期 (月日)		
	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	7.17	7.14	3
トヨコマチ	7.16	7.13	3

品 種 名	主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)			分 枝 数 (本/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	46	56	▲10	9.3	10.3	▲1.0	5.9	6.8	▲0.9
トヨコマチ	53	62	▲9	10.3	11.1	▲0.8	5.8	6.8	▲1.0

注1) 平年値は、前7か年中、平成7年(最豊)及び平成8年(最凶)を除いた5か年の平均値。
2) ▲は平年より減を示す。

5) 小 豆： やや不良

事由：6月中旬～下旬の低温および降水不足によって、生育は停滞した。7月に入ると気温はほぼ平年並となり、降水量も増えたため、生育は回復傾向にあるが、主茎長、本葉数、分枝数は何れも平年を下回っている。
したがって、目下の作況はやや不良である。

表7 7月20日の小豆の生育

品 種 名	主 茎 長 (cm)			本 葉 数 (枚)			分 枝 数 (本/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	19	25	▲6	6.5	7.2	▲0.7	2.7	5.9	▲3.2
エリモショウズ	19	23	▲4	6.9	7.4	▲0.5	2.1	5.8	▲3.7

注1) 平年値は、前8か年中、平成13年(最豊)、平成6年(最凶)、平成12年(参考)を除いた5か年の平均値。
2) ▲は平年より減を示す。

6) ばれいしょ : やや不良

事由：6月下旬は低温・少雨に経過し、緩慢な生育となった。7月に入り、気温ならびに降水量は平年並となったものの、中旬は降水量が平年の4倍量で日照時間も少なかった。このため、茎長は両品種とも平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表8 7月20日のばれいしょの生育

品種名	茎長(cm)		
	本年	平年	比較
農林1号	43	76	▲33
男爵いも	30	43	▲13

注1) 平年値は、前4か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

7) てんさい : 平年並

事由：6月下旬は低温・少雨に経過し、緩慢な生育となった。7月に入り、気温ならびに降水量は平年並となったものの、中旬は降水量が多く日照時間は少なかった。草丈、生葉数は平年に比べ下回っているものの、根周は平年を僅かに上回っている。

したがって、目下の作況は平年並である。

表9 7月20日のてんさいの生育

品 種 名	草丈(cm)			生葉数(枚/株)			根周(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
モノホマレ	49	58	▲9	22.8	24.1	▲1.3	24.7	23.5	1.2

注1) 平年値は前7か年中、平成10年、11年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。